

農業資材審議会飼料分科会遺伝子組換え飼料部会（第42回）
議事概要

1 日時

令和6年2月29日（木）14:01～16:39

2 場所

農林水産省 消費・安全局第2会議室（web併催（非公開））

3 出席委員（敬称略、五十音順）

奥宏海、久野裕（座長）、平山和宏（部会長）、宮原平、吉岡都

4 会議の概要

（1）遺伝子組換え飼料部会の運営について

- ・審議の結果、懇談会扱いとなる第40回と第41回の遺伝子組換え飼料部会（懇談会）における議論の結果を部会の審議結果として差し支えないと判断された。

（2）組換えDNA技術応用飼料の安全性確認

除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ MON94313 系統

- ・審議の結果、当該飼料について安全性に関する確認の結果を農業資材審議会飼料分科会に報告することとされた。

半矮性トウモロコシ MON94804 系統

- ・審議の結果、当該飼料について安全性に関する確認の結果を農業資材審議会飼料分科会に報告することとされた。

（3）組換えDNA技術応用飼料等の安全性審査基準改正の検討について

- ・組換えDNA技術によって得られた種子植物を飼料として用いる場合の安全性審査基準の改正については、改正案の内容について、これまでの議論により抽出された論点を含めて今後精査し、引き続き検討を進めることとされた。
- ・組換えDNA技術を応用して得られた微生物を利用して製造され、かつ当該微生物を含む飼料を審査できる安全性審査基準を新設することについて了承された。また、新設する基準案の内容については、今後引き続き検討を進めることとされた。